

◎外海ラーバ調査（常呂漁協、佐呂間・湧別青年部による調査）

4月30日に湧別紋別境界、第1湖口下、常呂漁港沖でラーバ調査を行いました。

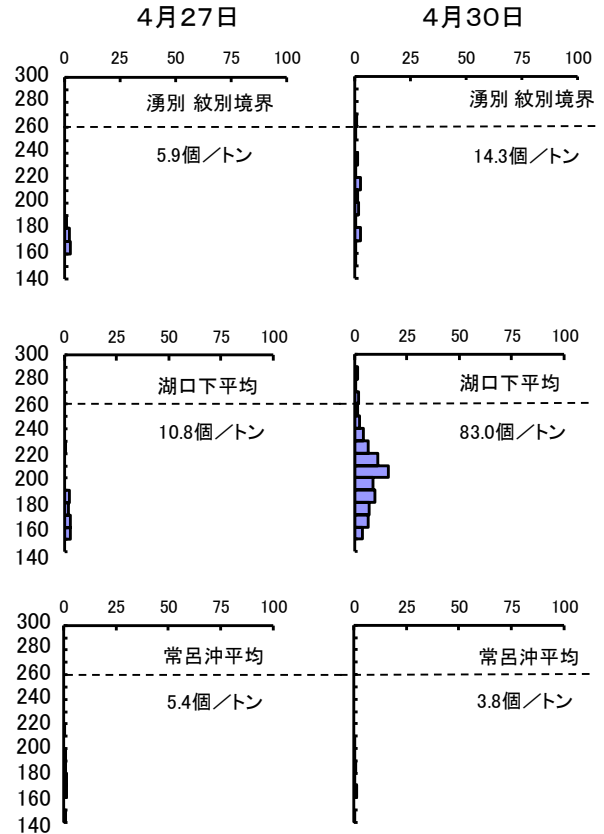
その結果、湧別紋別境界では14.3個/トン、湖口下では83.0個/トン、常呂では3.8個/トン出現していました。水温は湧別紋別境界の底層で6.0℃、常呂漁港沖で5.8℃でした。

例年は水温8℃以上で付着盛期となります。今回のサンプルは依然として珪藻が多く、水温は低い状況です。

次の調査は5月4日に実施予定です。

外海ラーバの出現状況

	湧別紋別境界	第1湖口沖下側	常呂漁港沖	平均
140 ~ 150	0.0	0.0	0.5	0.2
150 ~ 160	0.7	4.0	0.0	1.6
160 ~ 170	0.7	6.8	1.2	2.9
170 ~ 180	2.6	7.3	0.5	3.5
180 ~ 190	0.8	9.7	0.7	3.7
190 ~ 200	2.0	9.0	0.5	3.8
200 ~ 210	1.4	16.0	0.5	6.0
210 ~ 220	2.8	11.3	0.0	4.7
220 ~ 230	0.5	6.8	0.0	2.4
230 ~ 240	1.3	4.2	0.0	1.8
240 ~ 250	0.0	2.4	0.0	0.8
250 ~ 260	0.5	1.4	0.0	0.6
260 ~ 270	0.9	1.9	0.0	0.9
270 ~ 280	0.0	0.7	0.0	0.2
280 ~ 290	0.0	1.4	0.0	0.5
290 ~ 300	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	14.3	83.0	3.8	33.7
200μm以上	7.4 52.1%	46.2 55.7%	0.5 12.5%	18.0 53.6%
260μm以上	0.9 6.6%	4.0 4.8%	0.0 0.0%	1.7 4.9%
イガイ	3.2	5.2	0.7	3.0



外海水温（水深20m地点）

水深	紋別境界	常呂漁港沖
0m	3.14	5.96
5m	4.28	5.84
10m	6.01	5.80
15m	6.02	5.78
底	6.00	5.76

◎生殖巣熟度調査

4月30日にホタテガイ生殖巣熟度調査を行いました。

その結果、養殖員の生殖巣熟度指数（床丹、赤川の平均）は26.3で、前回22.1より上昇していました。底生貝（ワッカ、芭露地区の平均）では23.7で、前回21.2より上昇していました。

